

## ◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

26A-37

代表者：会長 浅枝 隆

URL : <http://taroemon2021.html.xdomain.jp/index.html>

### 1. 活動が必要とされた状況

太郎右衛門自然再生地は、都市部近郊で豊かな自然環境が残されており、地域固有の生物多様性の確保や自然と共生する社会の実現への貢献が期待される地域である。豊かな自然環境を保全・再生していくため、①自然再生地の認知拡大、②協働・連携による自然再生地の持続的な維持管理の仕組みや体制づくりは、本協議会の重要課題となっている。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) リーフレット制作（講義期間 2023 年 5～12 月、東京デザイン専門学校 3 年 40 名）

リーフレットは、①おひとり様、②ファミリー、③企業の新人社員研修担当の対象者向け、いずれかを選択して作成した。

(2) 広報用パネル製作

自然再生地の認知拡大に向けて、自治体が主催するイベントに出展する際の説明資料として、イベント時に参加者へ自然再生地の生き物などをビジュアルで紹介できるパネルを製作した。

(3) 掲示板製作

協働・連携による持続的な維持管理に向けて、連携企業等が行う地域貢献活動を協議会から発信できるように掲示板を製作した。

(4) 刈払い機購入

維持管理・保全活動を、より効率的に行っていくために刈払い機を購入した。

### 3. 活動の成果

(1) リーフレット制作

採用作品について、バラエティに富んだ作品の中から、優れた作品を採用して印刷を行った。印刷後に、環境総合展の「エコプロ」にて展示・配付した。



①リーフレット(おひとり様)②リーフレット(ファミリー)③リーフレット(企業向け)

(2) 広報用パネル製作、掲示板製作、刈払い機購入

広報用パネル 1 枚、掲示板 1 基を製作し、刈払い機 1 台を購入した。

### 4. 今後に残された課題

リーフレットは、イベントやボランティア活動時に配布、近隣商業施設等に配置した。また、新規の連携企業にアプローチする際の説明資料とするなど、自然再生地の認知拡大や維持管理活動の担い手確保につなげる。さらに、広報用パネルは、自然再生地を知り、足を運んでもらえるよう、イベント等で活用していく。